



# シンガポールと私 滞在で見えた 日々の発見と未来のつながり

石坂広樹教授

鳴門教育大学大学院・グローバル教育コース

石坂広樹（いしざか ひろき）

鳴門教育大学大学院・グローバル教育コース 教授

中米コスタリカ大学で公共政策学の博士号を取得後、在ホンジュラス日本大使館で専門調査員として勤務し、ユネスコ本部でもインターンを経験した。現在は鳴門教育大学大学院に所属し、主に留学生を対象に比較教育学を教えている。専門は国際教育協力、数学教育、国際理解教育である。これまでボリビア、モザンビーク、シエラレオネ、ジャマイカなどで教育政策研究や教師研修に従事し、国際協力と教育改革を架橋する実践研究に取り組んできた。また、シンガポール唯一の教員養成機関である国立教育院（NIE）に2024年4月から9月まで客員研究員として滞在し、さらに2016年よりシンガポールと日本の小学校間の教育交流を継続して推進している。

日 時 2026年 3/15 (日) 15:30～17:00

講 演 シンガポールと私：滞在で見えた日々の発見と未来のつながり

石坂広樹教授 鳴門教育大学大学院・グローバル教育コース

会 場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

入場料 無料

## 開催にあたって

徳島ユネスコ協会は本年創立 50 周年を迎えます。ユネスコ UNESCO（国際連合教育科学文化機関）は、第二次世界大戦が終わった1945年、人類が二度と悲惨な戦争を繰り返さないようにとの願いを込めて1946（昭和21）年に創設された国際連合の専門機関です。教育・科学・文化・コミュニケーションを通じた国際理解や国際協力の推進、人々の交流を通じた国際平和と人類の福祉の推進という役割があります。ユネスコ憲章（前文より）戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならぬ。の理念に基づき徳島ユネスコ協会は活動してまいりました。阿波人形浄瑠璃平成座は、日本ユネスコ協会連盟の未来遺産運動の審査に通り2013（平成25）年、平成座の活動「世界に伝えたい阿波人形浄瑠璃の魅力未来遺産プロジェクト」が登録されました。その阿波人形浄瑠璃平成座は、2009（平成21）年ブラジル公演に続き、本年2026（令和8）年9月にシンガポールで公演を行い、阿波人形浄瑠璃の魅力を発信する予定です。本年は、日本とシンガポール外交樹立60周年の年でもあります。国際的にご活躍の鳴門教育大学大学院石坂広樹教授に、特にシンガポールについてのご講演をいただき、シンガポールの国や人々の理解を深め温かな人々の交流をしてまいりたいものです。たくさんの方のご来場をお待ち申し上げております。

徳島ユネスコ協会 会長 藤本宗子



主催 徳島ユネスコ協会

共催 阿波人形浄瑠璃平成座・徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

後援 徳島商工会議所・徳島商工会議所女性会

お問い合わせ

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184 Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

徳島ユネスコ協会 徳島市川内町沖島245 Tel.088-665-0205